

看護部

看護部長 新実 絹代

目標総括

目標1 新人を全員で育てる

e-ラーニングを導入し各部署での技術教育に活用予定であったが、運用規定の作成が年度に入ってからとなり後期に運用可能となった。分散教育が中心の予定ではあったが、それぞれの役割は異なり、7月から教育担当副看護部長、教育顧問を迎え後期から**集合教育**を開始した。各部署での支援は努力していたが、新卒退職率は10.0%であり、全国平均と比較しても良いとはいえない。また、今年度は技術教育に主眼をおいたが新卒看護師が成長を実感でき同期とセッションできるフォローアップは不十分であった。

今後は新教育体系による教育の運営と分散教育とを統合させていくことが重要となる。また、その運営にあたる教育委員の選出、育成も課題となる。次年度は各部署における新人教育の標準化を図り新卒看護師の支援強化を図る。

目標2 経営意識を持つ

4月の**救命救急センター開設**、8月の**外傷センターチーム**による医療開始等の新規事業が導入された。事前準備、人員配置等の不備がある中、職員の努力により何とか運用できているが、次年度に向け人員配置を整備予定である。**手術件数も増加**しており、手術室増室の計画もあり業務改善し対応してきた。今後も業務改善・人員整備を進めていく必要がある。病床稼働については、**ベッドコントロール指針・退院調整指針**を作成し運用し、平均化した病床稼働、救命救急センター、ICU等特別入院加算病床の稼働率向上、病棟間の転棟等の協力体制等が機能してきた。その結果、収益アップにもつながり病院経営に貢献できた。7:1配置も厳しい人員状況の中、看護部職員全員の協力で維持でき、これも病院経営への多大

な貢献である。課題として、適正人員配置の実施、平成26年度診療報酬改訂に向け、在院日数管理、看護必要度管理が厳重になることに対する対応、退院調整機能の強化がある。

目標3 効率よくチーム力を発揮する

効率・効果的な組織運営のために、**看護部組織体制、職務規定**を明確にした。また、良質な看護サービスの提供が看護部の使命であり、**看護基準・手順委員会**を新設し業務の標準化の徹底を図ることとした。また、看護提供方式として、**固定チームナーシング・継続受け持ち制の確立**を目指して、業務委員会が現状調査、マニュアルの作成を行った。安全性のある看護ケアの提供として**転倒転落の防止対策**は医療安全管理者、リスク委員会が取り組みを行い、有害損傷は全国平均を下回ったが転倒転落件数の改善には至らなかった。**看護過程の展開の強化**については、JCIのCOPチームが中心となり、ガイドラインの作成、監査を徹底し目標値をクリアできた。急性期病院であっても直接的看護を重視したいという主旨から**業務量調査**を行い集計・分析から業務改善のポイントを抽出することができた。また、**認定看護師部会**を後期より発足し、次年度に向け職務規定を作成中であり横断的活動によるコンサルテーションの効果を期待したい。

今後の課題として、看護の質を左右する、看護提供方式の確立、看護手順の精選看護過程の更なる充実、業務改善の取り組みがあげられる。また、安全な看護の提供として、特に転倒転落防止には継続して取り組む必要がある。

目標4 職員が輝く職場づくり

職員の退職率は例年に比べ若干改善したが、全国平均10.4%をかなり上回っており、**職員定着への取**

り組みが喫緊の課題である。今年度は、3年目職員全員、外国人看護師、リーダー層看護師とランチミーティングを計10回開催し看護部運営に関する有効な意見を伺うことができ、看護部の方向性を伝える場ともなった。職員満足度調査も全国平均より低く、看護のやりがいや、成長できる教育環境、休暇取得が課題である。目標管理の手引きは今年度作成したが、キャリア開発を支援するために個人目標管理をこれも今年度作成したラダー評価表とリンクさせ実施することで、各自が確かな目標達成に向け歩んでいけるものと思われる。

また、より良い職場づくりには、管理者がマネジメント力を発揮することが重要であり、今年度はマネジメント勉強会を6回実施した。また、昇格昇進規定を作成し、看護部幹部のみならず院長、事務長による第三者評価も採用し選考を実施した。昇格昇進選考過程での対象者のめざましい成長が感じられた。

今後も各部署責任者の役割意識、責任意識に基づくマネジメントの自己啓発を期待する。次年度は、外部の看護管理研修に参加する管理者が数名決定し

ており相互啓発にも期待する。

さらに、職位別会議を1月より徹底し次年度に向けてのプランを立案している。職位に応じた役割や能力育成が、師長の輩出につながり全部署師長配置体制整備に向け重要と考えられる。

■今年度は看護部組織体制、職務、業務規定、看護の質に関連する資料、規定づくり、教育体系の構築等、全職員の共通ツールの明確化、システムづくりに追われた。次年度はその活用により成果がもたらされると思われる。人員が厳しい中でも、協力と創意工夫と指針等の整備により、7:1看護配置取得、ベッドコントロール等で病院経営に貢献できたことは大きな成果であった。今後は、「組織は人なり」職員個々がやりがいと継続できる職場環境づくりを強化することが、更なるアウトカムを産むと考えられる。

さらに、看護部の中間管理者は病院の中核的役割を担う人材として力を備え発揮することを期待するものである。

平成25年度看護部教育実績 レベル I

研修テーマ	研修日時	研修時間	目標	内容・方法	講師 アドバイザー	参加 人数
1) 入職前ゼミ 看護技術 (I)	3/28~3/31 9:00~17:00	12.5 時間	<ul style="list-style-type: none"> 看護技術 (体位変換・オムツ交換、手洗い) の目的、方法を理解し実施できる 院内電子カルテシステムについて理解する 電子カルテ基本操作がわかる 一次救命 (BLS) 実施できる 	感染:スタンダードプリコーション	大澤副看護部長、 田村師長	87名
				体位変換・オムツ交換	望月主任	
				BLS	押見 (4S)	
				輸液療法	手塚主任	
				採血・筋注・皮下注	奈良副主任 (ER)	
	電子カルテ操作					
2) 入職式	4/1 (月) 9:00~17:00	7 時間	<ul style="list-style-type: none"> 入職式、オリエンテーションに参加することにより、病院の理念、概要を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 病院の理念・概要 病院のしくみを知る 医療安全・感染防止 		87名

3) 新入職者全体研修	4/2(火) 4/3(水) 9:00~17:00	7時間	・個人情報保護について基礎的な知識がわかる ・入職式に参加し、職員としてのモチベーションを高めることができる	接遇・保険診療 倫理・JCI		87名
4) 看護部 オリエンテーション	4/4(木) 9:00~17:00	7時間	・看護部の理念・目標・概要・教育体制等について理解する ・看護職員としての倫理について理解できる ・医療安全の考え方について理解する ・看護職員として患者とかかわる服装や姿勢について理解できる	看護部の理念・目標・倫理 教育体制・医療安全 感染防止・接遇① カウンセラーの役割 看護サービス	遊佐副院長 佐々木看護部長 工藤教育委員長 地域：木内師長 オンコロジー： 五十嵐師長他	87名
5) 看護必要度 研修	4/5(金) 9:00~11:00 11:00~13:00 13:00~15:00 15:00~17:00	2時間	・看護必要度の目的意義について理解できる ・看護必要度について理解し記入の実際がわかる	看護必要度 4グループに分ける	島袋副看護部長	87名
6) 輸液ポンプ・ シリンジポン プ 酸素ポンベ の取り扱い	4/5(金) 9:00~11:00 11:00~13:00 13:00~15:00 15:00~17:00	2時間	・酸素ポンベ、輸液ポンプ、シリンジポンプの操作方法がわかる ・医療器具の安全な取扱い方法がわかり実施できる	・酸素ポンベ・輸液ポンプ ・シリンジポンプの取扱い 4グループにわける	ME：高室技士長	87名
7) 酸素療法	4/5(金) 17:00~18:00	1.5時間	・酸素療法、SPO ₂ モニターについて理解できる	・酸素療法・SPO ₂ モニター	呼吸療法部： 西野Ns 鵜川Ns	87名
8) 看護技術 (Ⅱ)	4/22・23・24 17:30~18:30	1.5時間	・患者移送の基礎知識を学び患者の安全について考えることができる	患者移送・患者移乗	リハビリテーション科：根本主任	87名
9) 看護技術 (Ⅲ)	4/19(金) 9:00~12:00 13:00~16:00	3時間	・重篤な不整脈、心電図の読み方を理解できる ・心電図モニター取扱い、十二誘導の技術がわかる	・心電図モニターの取扱い ・十二誘導の技術	島袋副看護部長 AM/PMIにわける 2グループに分ける	87名

10) 看護技術 (IV)	4/26 (金) 18:00~19:00	1時間	・基礎的な症状のとらえ方を理解し、実践力を身につける事ができる ・症状の見方がわかる	フィジカルアセスメント① バイタル・呼吸		87名
11) 1か月フォローアップ 研修	5/10 (金) 5/30 (木) 9:00~12:00	3時間 3時間	・医療機器オリエンテーション ・輸液ポンプ シリンジポンプ 人工呼吸器 ・心電図モニター ・低圧持続吸引器 ・AED 酸素ボンベ		臨床工学技士 高室技士長	87名
	5/10 (金) 5/30 (木) 14:00~17:00	3時間	・1か月間をふり返り、思い、悩みを共有する ・建長寺 座禅研修	1か月の振り返り研修 院外研修 (鎌倉散策・座禅研修)		87名
12) 3か月フォローアップ 研修	6/24 (月) 9:00~11:00 11:00~12:30 13:15~15:00	7時間	・3ヶ月の臨床を振り返り、自己の課題を明らかにする ・同期との交流を行い、今後の意欲につなげる	3ヶ月目フォローアップ 終了授与式	看護部長 副看護部長	87名
			・ストレス・マネジメントについて学ぶ		カウンセラー： 加藤氏	
			・麻薬の取り扱いができる	輸血療法	薬剤部：萬氏	
			・輸血の取り扱い	麻薬の取扱い	検査部：槇氏	
13) 看護過程	10/21 (月) 10/28 (月) 10/29 (火) 17:30~19:00	1.5時間 ×3回 計4.5時間	・看護過程・電子カルテ操作・標準看護計画の活用について学ぶ	講義	南出師長	83名
14) 呼吸器ケア	12/3 (火) 12/5 (木) 12/12 (木) 17:30~19:00	1.5時間 ×3回 計4.5時間	・呼吸器の仕組み、呼吸器管理方法について学ぶ ・BIPAP の仕組み、管理について理解できる ・呼吸器患者の観察のポイント、看護ケアの技術を理解する	講義 演習	呼吸療法部： 和田Ns	83名

15) 看護観 発表会 12ヶ月フォロー アップ研修	1/27 (月)	2時間	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間を振り返り、自分の看護観を振り返ることで、自己の成長や学びを実感する ・1年間を振り返り、社会人としての自己の課題を認識し課題が明らかになる 「患者様からの贈り物」 	看護観の抄録提出	新実看護部長	84名
	1/29 (水)	×3回		看護観の発表	教育担当副看護部長	
	1/31 (金) 17:30~19:30	計6時間		グループワーク	座長・講師・ファシリテーター等の役割を担った部署責任者	

平成25年度看護部教育実績 レベルⅡ

研究テーマ	研修日時	時間	目標	内容・方法	講師アドバイザー	参加人数
1) リーダーシップ研修	9/3 (火)	1.5時間	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップの基本を学ぶ ・リーダーの役割を学ぶ ・メンバーシップについて考え、自身のメンバーとしての課題を明らかにする 	講義 グループワーク 事前レポート提出	講師 長坂洋子師長 教育担当 坊坂桂子主任	91名
	9/6 (金)	×3回				
	9/9 (月) 17:30~19:00	計4.5時間				
2) ACLS 研修	7/19 (金)	4時間	<ul style="list-style-type: none"> ・BLSの実施方法を体験する ・気道確保、DCについて実施訓練を通して理解する ・VT・VF急変時の対応を理解する ・アルゴリズムを理解する 	講義 演習	講師 曾根祥子主任 教育担当 坊坂桂子主任	87名
	8/30 (金)	4時間				
	10/22 (火)	4時間				
	15:00~19:00	計12時間				
3) 事例のまとめ方研修	11/16 (土)	1.5時間	<ul style="list-style-type: none"> ・担当患者の中から印象に残る事例を選択し、自己の看護観をまとめる ・事例を振り返ることで看護観を深める ・ケースのまとめ方の必要性が理解できる ・倫理的配慮の必要性を理解する ・発表を聞くことで看護の視野を広げる 	講義	講師 棚田幸恵副看護部長 教育担当 坊坂桂子主任	86名
	11/18 (月)	×3回				
	11/19 (火) 17:30~19:00	計4.5時間				

4) プリセプター シップ研修	12/6 (金) 12/9 (月) 12/17 (火) 17:30~19:00	1.5時間 ×3回 計4.5時間	・プリセプターシップについて基本的な考え方や方法を学ぶ ・プリセプターとプリセピティの関係について学ぶ ・プリセピティへの関わりの実際を知る	講義 事前レポート提出	講師 棚田幸恵副看護部長 教育担当 坊坂柱子主任	91名
5) ケーススタ ディ発表会	1/23 (木) 1/24 (金) 1/30 (木) 17:30~19:30	2時間×3回 計6時間	・患者を継続して担当し、看護展開をまとめることで看護観を深めることができる ・ケーススタディの発表を聞くことで看護の視野が広がる ・ケーススタディの発表を体験する	事例発表会 抄録・論文は印刷配布	新実看護部長 教育担当副看護部長 座長・講師等 の役割を担った部署 責任者	85名

平成25年度看護部教育実績 レベルⅢ

研究テーマ	研修日時	時間	目標	内容・方法	講師・アドバイザー	参加人数
1) 看護研究について	6/4 (金) 7/12 (金) 8/9 (金) 9/13 (金) 研究指導4日間 12/12 (金) 1/10 (金) 3/6 (木) 18:00~19:30	1.5時間 ×11回 計16.5時間	・看護研究の概要を理解できる ・倫理的配慮の重要性が理解できる ・看護研究計画書の作成ができる	講義 (外部講師)	講師 神奈川県立保健福祉大学准教授 難波貴代氏 教育担当 渥美清恵師長 棚田幸恵副看護部長	51名
2) プリセプター フォローアップ 研修	11/25 (月) 17:30~18:45 11月29日 (金) 17:30~18:45	75分 ×2回 計2.5時間	・プリセプターを体験しての悩み、学びを共有できる ・プリセプターとしての役割を再確認し、支援できたか考えられる ・今後の指導の糸口を見いだせる ・指導体験が自己成長に繋がっている事を認識できる	講義 グループワーク	講師 棚田幸恵副看護部長 教育担当 渥美清恵師長	41名

3) リーダーシップ研修	7/13 (土) 14:00~15:30 7/20 (土) 14:00~15:30	1.5時間 ×2回 計3時間	・リーダーの役割を知り、理想のリーダー像に近づくための自己の課題を見いだす	講義	講師 渥美清恵師長 教育担当 棚田幸恵副看護部長	45名
--------------	--	----------------------	---------------------------------------	----	-----------------------------------	-----

平成25年度看護部教育実績 レベルⅣ

研修テーマ	研修日時	時間	目標	内容・方法	講師 アドバイザー	参加人数
1) リーダーシップ研修	①11/15 (金) 17:30~18:30 ②11/22 (金) 17:30~18:30 ③11/26 (火) 17:30~18:30	各1時間 1時間 1時間 計3時間	組織におけるリーダーシップを学び、所属する組織における自己の役割を理解し、行動できるようになる。	内容： 1. 看護におけるリーダーシップ 1) 看護の組織 組織とは・看護の組織 2) 看護の組織に求められること 2. リーダーシップについて 1) 看護組織とリーダーシップ 2) リーダーシップ理論 3. 演習(事前課題を基にグループワーク・実践例の意味づけ) 各自のリーダーシップ体験を基にリーダーシップについて考える ・リーダーシップを発揮できたと思える場面 ・リーダーシップが不足していたと思える場面 4. 期待される役割 講義・演習 全員を3グループに分けて実施	講義： 酒井恵子 担当： 伊藤師長 酒井恵子	①16名 ②14名 ③16名 計46名

2) コーチング研修	一回目	各2時間 計6時間	個人や組織の目標達成のための自発的行動を促す(やる気を高める)コミュニケーション技術を習得する	内容： 【一回目】コーチングとはコーチングの背景, 今なぜコーチングなのかコーチングの原則, コーチングの構造 【二回目】「多様性について」効果的な人との関わり方, 人の多様性について学ぶ「タイプ分け」 【三回目】コーチングスキル 相手をほめる「アクノレジメント」効果的な「質問」 方法：講義・演習 3回全て参加する	講師	一回目
	12/18(水) 17:30~19:30				近藤真樹	39名
	二回目				アシスタント	二回目
	1/15(水) 17:30~19:30				島村優子	36名
	三回目					三回目
	1/22(水) 17:30~19:30					26名
						計101名

平成25年度看護部教育実績 レベルV

研修テーマ	研修日時	時間	目標	内容・方法	講師・アドバイザー	参加人数
1) 問題解決技法	一回目	各2時間 計4時間	・管理・専門領域における問題解決の方法を学び、問題解決技法を習得する	講義 1. マトリックス思考の構築 ・マトリックス思考の枠組み ・マネジメント・サイクルと管理の基軸・マトリックス表の組み立て方 2. 管理事例作成の手順 ・事例研究の役割と累積効果・職場環境のチェックポイント ・事例作成手順の標準化 3. 管理事例解析の手順 ・課題—機能関連表の作成・記述方式による解析手順・統合型マトリックス表の活用 4. 模擬事例による演習 ・演習：模擬事例を用いてマトリックス思考による問題解決を理解する	講師:新実看護部長	一回目
	1/20(月) 17:30~19:30				ファシリテーター:	53名
	二回目				副看護部長	55名
	1/28(火) 17:30~19:30					計108名

平成25年度看護部教育計画 専門領域 その他

研究テーマ	研修日時	時間	目標	内容・方法	講師・アドバイザー	参加人数			
認定支援 1) 緩和ケア	9/3 (火)	各1時間	・専門看護能力を高め看護実践の質の向上を図る	・緩和ケア概論	講師 五十嵐桂子師長	7名			
	9/10 (火)	計9時間		・がん性疼痛コントロール		31名			
	11/5 (火)			・がん治療と患者支援		20名			
	11/13 (水)			・がん放射線治療		10名			
	11/27 (水)			・最新の分子標的治療		18名			
	12/3 (火)			・在宅医療と家族ケア		22名			
	1/14 (火)			・がん治療と栄養管理		10名			
	2/25 (火)			・がん治療とリハビリテーション		7名			
	3/4 (火)			・がん性疼痛の評価と治療		62名			
	17:30~18:30			講義		計187名			
	2) 呼吸療法			10/4 (金)		各1時間	・呼吸状態のアセスメントを学ぶ	講師 和田希 CN	1名
				11/1 (金)		計5時間	・人工呼吸器の仕組み看護を理解する		5名
				12/20 (金)			・NPPV 装着患者の看護を理解する		3名
1/17 (金)		・排痰ケアに必要な技術を身につける	5名						
2/21 (金)		・呼吸不全患者の病態を理解し必要な呼吸ケアをイメージできる講義	4名						
17:30~19:00			計18名						
3) トピックス 研修	10月30日(水)	1.5時間	・病院に相応しくユニフォームと調和の取れたナチュラルな印象づくりを学ぶ	講師 大浜由紀 株式会社 ビジョンテック	41名				
	11/15 (金)	1.5時間	・あらゆる年齢、立場の患者さんから好感をもたれるメイクアップ・ヘアアレンジのポイントを学ぶ ・自分自身を振り返り、気づいて楽しく実践できる力を身につける	教育担当 木内薫師長	38名				

平成25年度 院外研修参加一覧

研修名	参加者数	開催日	主催
生活支援技術研修 初級	3名	2013年5月18・19日	徳洲会看護部
実習指導者学習会	2名	2013年6月1日	積善会看護専門学校
摂食嚥下障害のある患者の看護	1名	2013年6月7日	看護協会A
看護記録の本質	2名	2013年6月11日	看護協会A
ホスピタリティートレーナー研修	11名	2013年6月15・16日	徳洲会本部
明日からできる退院支援と退院調整	3名	2013年6月17日	看護協会A
一人一人が取り組む感染防止対策	2名	2013年6月18日	看護協会A
ストーマリハビリテーション講習会	2名	2013年6月23・24・25日	神奈川県看護協会
栄養管理のアセスメントの実際	1名	2013年6月24日	看護協会A
手術室看護	1名	2013年6月27日	看護協会A
特別講演会	1名	2013年6月28日	日本看護職副院長連絡協議会
第13回日本抗加齢医学会総会	2名	2013年6月28日～30日	一般社団法人日本加齢医学会
糖尿病合併症管理料算定特別研修	1名	2013年 6月28日・7月1・2日	看護協会A
生活支援技術研修 中級	3名	2013年7月7日	徳洲会看護部
13, 看護必要度評価者院内指導者研修	8名	2013年7月7日	日本臨床看護マネジメント学会
対人関係向上研修	1名	2013年7月8・9日	看護協会A
神奈川県職能集会	1名	2013年7月9日	看護協会B
2013 CIVIT 発表	2名	2013年7月11日	日本心血管インターベンション治療学会
2013 CIVIT 発表		2013年7月11日	日本心血管インターベンション治療学会
日本心血管インターベンション治療学会	1名	2013年7月11～13日	日本心血管インターベンション治療学会
脳卒中治療研究会 大磯セミナー2013	9名	2013年7月13日	湘南鎌倉総合病院
211, 災害医療と看護(基礎編)	1名	2013年7月12日・13日	看護協会
オンコロジー研修会	1名	2013年7月19日	日本サイコオンコロジー学会
災害看護(実務編)	2名	2013年7月18・19日	看護協会A
透析療法従事職研修	2名	2013年7月19・20日	日本腎臓財団
臨地実習指導者研修～実習生の学びを支援するために	2名	2013年7月22・23日	神奈川県看護協会
脳死下臓器提供可能施設説明会	1名	2013年7月22日	神奈川県保健福祉極保健医療部保健予防課
TOPIC2013	1名	2013年7月26日・27日	東京バークタネアス カーディオバスキュラーインターベンションカンファランス

ここが知りたい転倒・転落・誤訳防止	3名	2013年7月29日	看護協会A
看護リフレクション研修	5名	2013年8月3日	徳洲会教育委員会
ターミナルケアを考える in 鎌倉	2名	2013年8月7日	NPO かまくら地域介護支援機構
安全対策の落とし穴	1名	2013年8月10日	看護協会B
ALSOPロバイダーコース	6名	2013年8月10日・11日	日本ACLS協会
感染管理セミナー	1名	2013年8月21日～4日間	日本感染管理支援協会
1歩進んだ呼吸理学療法	1名	2013年8月24日・25日	メディカ出版研修会
これからもイキイキ看護を続けるために	1名	2013年 8月28日・10月10日	県看護協会
第5回神奈川カテ室コ・メディカル研究会	3名	2013年8月31日	神奈川カテ室コメディカル研究会
労働者として知っておきたい労働基準法の基礎知識	2名	2013年9月4日	県看護協会
日本口腔外看護研究会 第1回東京地区セミナー	2名	2013年9月7日	日本口腔外看護研究会
進化する外来看護	1名	2013年9月7日	看護協会B
よくわかる高次機能障害	2名	2013年9月13日	看護協会B
リーダーナースのフィジカルアセスメント	2名	2013年9月11日・12日	看護協会B
県立がんセンター：がん臨床講座（平成25年度）	1名	2013年 9月11日～3月19日	神奈川県
平成25年度看護師長等中間管理者研修	1名	2013年9月13・14日 12月6・7日	徳洲会グループ
CNJセミナー「Meet the Expert 専門医に聞く」	1名	2013年9月21日	キャンサーネットジャパン
平成25年度がん看護症例発表会	1名	2013年9月20日	徳洲会ゲノムオンコロジー委員会
中堅看護職研修1	1名	2013年9月24日	看護協会B
徳洲会第13回医療安全管理者養成研修会	2名	2013年9月28日	徳洲会
医療安全管理者研修	2名	2013年9月28日	徳洲会本部
新生児のケア	2名	2013年9月28日	日総研
教育担当者研修	1名	2013年9月30日	看護協会B
AHA ACLS プロバイダーコース	1名	2013年10月5日	AHA
児の母乳吸啜メカニズムに基づく乳房ケア	1名	2013年10月5日	日総研
NICUに入院した新生児のための母乳育児支援セミナー	2名	2013年10月5日	日本新生児看護学会
第10回日本医療リンパドレナージ協会 学術大会	1名	2013年10月6日	日本医療リンパドレナージ協会
緩和ケア認定看護師フォローアップ研修	1名	2013年10月8日	神奈川県看護協会
ターミナルケアを考える IN 鎌倉	2名	毎月第1水曜	鎌倉地域介護支援

日本呼吸器ケア・リハビリテーション学会	1名	2013年10月10日・11日	日本呼吸器ケア・リハビリテーション学会
日本放射線腫瘍学会第26回学術大会	1名	2013年10月19日・20日	日本放射線腫瘍学会
NICUに入院した新生児のための母乳育児支援セミナー	2名	2013年10月20日	日本新生児看護学会
メンバーの成長を支援する面接の基本	3名	2013年10月24日	ビジネスブレーン
看護と倫理	1名	2013年10月24日	看護協会B
CVIT 関東甲信越地方会	1名	2013年10月26日	
がん化学療法における看護の役割	3名	2013年10月28日	看護協会B
市民公開セミナーR I 内用療法によるがんの放射線治療	1名	2013年11月2日	横浜市大
第3回トモセラピーセミナー	1名	2013年11月2日	
フレキシブルパス勉強会	1名	2013年11月15日	ソフトウェアサービス KK
第16回 日本腎不全看護学会学術集会・総会	1名	2013年11月16日	日本腎不全看護学会学術集会・総会
第8回 医療の質・安全学会 ミニコース	1名	2013年11月22日	医療の質・安全学会
第12回日本移植コーディネーター協議会総合研修会	3名	2013年11月22日～24日	日本移植コーディネーター協議会
医療安全推進習慣企画医療安全対策講習会	1名	2013年11月29日	全日本病院協会
もう迷わないバイタルチェック	1名	2013年11月30日	メディカ出版
第23回新生児看護学会	1名	2013年12月1日・2日	新生児看護学会
横浜メディカルラリー	1名	2013年12月1日	
平成25年度看護師長等中間管理者研修	2名	2013年12月6・7日	徳洲会グループ
マイクロセレクトロンHDR研究会第9回学術研究会	1名	2013年12月7日	マイクロセレクトロンHDR研究会
中堅看護師研修：いきいきと活躍し続けるために	1名	2013年12月17日	看護協会
がん専門医に訊く：食道がんのこと	1名	2013年12月21日	キャンサーネットジャパン
病院職員のための認知症研修会	1名	2014年1月11日・12日	日本病院協会
徳洲会関東ブロック看護研究発表会	2名	2014年1月18日	徳洲会
医療経営 Web セミナー	1名	2014年2月5日	中外製薬
AMAT 隊員養成研修	1名	2014年2月8日・9日	日本病院協会
第28回日本がん看護学会	1名	2014年2月8日・9日	看護協会
助産師のための研修会	1名	2014年2月12日	横須賀市助産師会
第29回日本環境感染学会総会	3名	2014年2月14日・15日	日本環境感染学会
神奈川カテ室コ・メディカル研究会	5名	2014年2月15日	神奈川カテ室コ・メディカル研究会
医療事故・紛争対応研究会第8回カンファレンス	1名	2014年2月22日	医療事故・紛争対応研究会
緩和ケア認定看護師フォローアップ研修会	1名	2014年2月24日	神奈川県看護協会
看護協会研修「看護職のためのメンタルヘルス」	1名	2014年2月28日	神奈川県看護協会

平成 25 年度神奈川県院内コーディネーター研修会	1 名	2014 年 2 月 28 日	日本臓器移植ネットワーク
第 41 回日本集中治療医学会学術集会	10 名	2014 年 2 月 27 日～3 月 1 日	日本集中治療医学会
第 48 回糖尿病学の進歩	1 名	2014 年 3 月 7 日	日本糖尿病学会
第 47 回日本臨床腎移植学会	1 名	2014 年 3 月 12 日～14 日	日本臨床腎移植学会

平成25年度 学会発表

開催日	発表者氏名	開催場所	学会名	題目
2013 年 7/11～13	清水修子	神戸国際会議場 神戸ポートピアホテル	日本心血管インターベンション治療 学会	日本心血管インターベンション治療 学会
2013 年 7/26・27	斉藤清美	セルリアンタワー東急ホテル 地下 2 階ホール	東京パークタネアスカーディオパス キュラーインターベンションカンファ レンス	TOPICS 2013
2013 年 8/7・8	酒井恵子	仙台国際センター	日本看護学教育学会	日本看護学教育学会 第 23 回学術集会
2013 年 9/27・28	東山久美	京都大学（吉田キャンパス）	日本看護管理学会・ 医療の質安全学会	第 51 回日本医療・ 病院管理学会学術総会
2013 年 11/9・10	土佐真弓	湘南藤沢徳洲会病院	平成 25 年度看護・介護研究発表会	看護師ワゴンの細菌検査と 清潔保持への取り組み
2013 年 11/16	江口陽子	ヴェルクよこすか 6 階ホール	平成 25 年度神奈川県看護協会 横須賀支部看護研究発表会	急性期脳卒中患者の転倒転落 危険因子について
2013 年 11/30	大澤栄子	パシフィコ横浜アネックスホール	神奈川県看護協会	第 16 回神奈川看護学会
2013 年 11/30	山下二	パシフィコ横浜アネックスホール	神奈川県看護協会	第 16 回神奈川看護学会
2014 年 1/10～12	藤田太樹	富山国際会議場 大手町フォーラム	第 19 回 日本脳神経外科救急学会	当院における脳神経系アンダー トリアージに関する検討
2014 年 3/7～8	愛甲美穂	なら 100 年会館 ホテル日航なら	第 12 回 日本フットケア学会 年次学術集会	フットケア外来におけるトータル ケアアプローチ